

心不全(heart failure)

・心不全は「なんらかの心臓機能障害、すなわち、心臓に器質的および/あるいは機能的異常が生じて心ポンプ機能の代償機転が破綻した結果、呼吸困難・倦怠感や浮腫が出現し、それに伴い運動耐容能が低下する臨床症候群」と定義される。

・慢性心不全は「慢性の心ポンプ失調により肺および/または体静脈系のうっ血や組織の低灌流が継続し、日常生活に支障をきたしている病態」と定義されるが、現在では急性・慢性の分類の重要性は薄れている。

・心不全の分類として左室収縮能による分類が多用されており、左室駆出率(left ventricular ejection fraction: LVEF)が40%未満がLVEFの低下した心不全(heart failure with reduced ejection fraction: HFrEF)と定義されている。

・HFrEF患者に対しては、交感神経系、レニン・アンジオテンシン・アルドステロン(RAA)系を阻害することにより左室リモデリングを抑制し、心不全の予後を改善することが治療の中心となっている。(図1、図2)

・コラランは心臓の洞結節のHCN4チャネルを阻害し、心ペースメーカー電流である If を抑制することによって、心拍数を減少させる薬剤である。

図1:急性・慢性心不全診療ガイドライン 2017年改訂版
(日本循環器学会/日本心不全学会合同ガイドライン)
(一部省略)

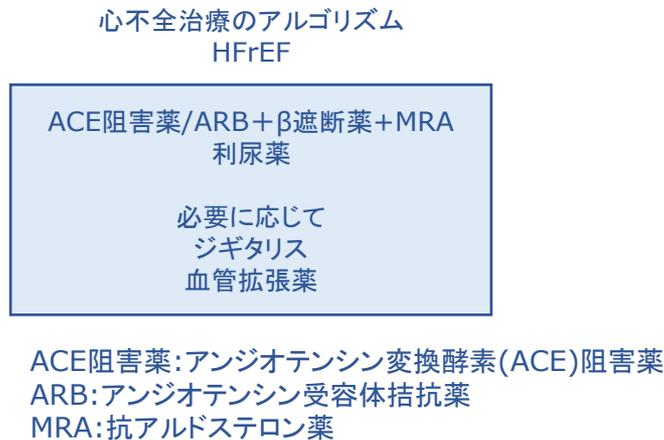


図2:急性及び慢性心不全の診断と治療ガイドライン2016
(欧州心臓学会(ESC)ガイドライン) (一部省略)

